

新春特集

商店街大学20周年フォーラム

商店街大学を受講したとき私は理事、事業部部長でした。今は副理事長を務めています。

「ハッピーロード大山では、街の再開が2020年から始まり、商店街の真ん中にある店舗がまとめてなくなっていました。コロナ禍と再開による店舗撤退のダブルパンチです。」

人材不足も年々深刻化し、理事の人数も最盛期の27人から10人に、ずいぶんスリム化してしまいました。ただ、同時に若返りもし、スピーディーに動きやすくなった面もあります。

例えば、コロナ禍に関して言えば、今でも毎週

日曜に行っているアーケード内のテラス営業。戦を重視する若手主体の道路占用許可基準の緩和が行われると知り、さっそく申請に動きました。月1回の理事会は本当に重要です。ここで継続申請や、理事会のリーダーの審議や承認がなると、ト会議化が早かったの、問題を乗り越えてしま

い、大切なビジネスチャンスを見逃すことにもなりかねません。理事会に若手が入ることによって経営判断のスピードが上がるというメリットは、あるのではないのでしょうか。

商店街大学では、さまざまな意見交換の場がありました。「人前で意見を発表する」「違う意見に耳を傾ける」という経験が、商店街運営に携わる上でとても役に立っています。

いくら私にアイデアや挑戦してみたいことがあっても、独断では実現しません。理事会で承認を得られるよう、支持される人で居る姿勢も大切にしていきたいです。



◇ハッピーロード大山商店街振興組合(板橋区)＝東武東上線大山駅の西側に
あるアーケード商店街。都市再開発で周囲に高層マンションなどが建つ予定

6期生 伊崎 宏明さん

「コロナ禍は、それまで人を呼ぶことが組合の役目だと思っていたので困惑していました。」

それでも、密になるからイベントに人を呼べないのならこちらから発信しよう、定期的に開催していた商店街公認アイドル「まゆちゃん」のライブなどをYouTube配信で配信しました。

飲食店を応援するため、再開発と隣り合わせのテナントを作ったり、ステイホーム奨励金を活用、運営していくのが目下、1カ月だけですが全



15期生 飯田 一雅さん

「私は商店街とNPOで副理事長を務めています。築地ではコロナ禍が起きる前に、卸売市場(場内)が豊洲に移転するという大きな出来事がありました。場内が2018年に営業を終えても変わらず場外市場にお客さんが来てくれて、ほっとしていた矢先のコロナでした。」

まずインバウンドがゼロになり、国内のツアーもなくなり、お客さんが激減して私の佃煮店も打撃を受けました。

ただ、コロナ禍は、初めての立ち止まって考える良い機会も与えてくれました。お客さんが来ないなら自分たちが出向こうと出張マシエを開催したり、築地の店や人を紹介するユーチューブ100日連続配信に挑戦したり、国際食品・飲料展にも出展し、とにかく

コロナ禍で何が変わった？

私は今、組合の理事ですが、商店街大学を受講したときはまだ事務局のメンバーという立場で、研修のコーディネーターや加入促進に取り組むことができました。

用賀出身ではないですが用賀在住、外資系生保のコンサルとして働く中で地域とのつながりが深まり、2015年、商店街に加入しました。用賀は本気で関わりたい「よそ者」を受け入れてくれる商店街なんです。

コロナを機に商店街の運営が変わってきたと感じるのは、危機感を感じて生まれた団結力です。この間、組合としては会費の徴収を免除した月

があつたり、助成金情報や行き、企業と商店街や住民との交流の場も設け、いしかでできませんし、た。でもイベントができるようにしています。

新しい人を商店街に引き込み、大きなイベントも企画したいですね。今、理事は23、24人いて、平均40代。若返りは済んでいます。ただ、それぞれ仕事や事情があり、イベントとなると動ける人は足りません。

だから街の人たちにヘルプを求めます。イベントは必ずボランティアも役割を担うように企画しますし、大規模なものであれば、ロータリークラブの若手やボランティア団体にも声を掛ける形をつくっています。

おかげでコロナが落ち着いたイベントを再開したら、以前よりも参加者が増えています。

よそ者を入れた成果が出たのだと信じて、私もまた外に声を掛けていきたいです。



◇用賀商店街振興組合(世田谷区)＝東急田園都市線の用賀駅を出てすぐ、面が広がる商店街。周囲は住宅街で、通りの先には馬車公園も

16期生 天沼尚之さん

私も同じく用賀に住んでいるけれど用賀出身ではない「よそ者」です。生保コンサルの知識を生かし、商店街が知財発信により認知・価値向上し、加入促進につなげるため、組合が主催する形で組合員向けに補助金・助成金・借換相談会や中小企業向けコンサル勉強会、住民向け相続・終活・介護セミナーなどをコーディネートし、2021年理事に就きました。

商店街大学や世田谷商強く発信したほうが良いことだと感じました。これは商店街が無くなると、若手のよそ者をどんどん受け入れる商店街は珍しいことだと思います。一方、活動を外から見ると、商店街の人から

16期生 小館洋さん

「種まきして回りました。あらためて考えたのは、助成金頼みの組織ではだめだということ。築地の魅力を見せなければ、店を継ぎたい人だって出てきません。これから「市場文化の継承」を打ち出していくこと話しています。」

築地は専門店の集まりです。個性の強い街です。濃い人の多い街です。これを面倒くさいと言ってしまうのが、やっぱり人が街の財産です。

なんでも多数決で決める、高齢の人や新しく入ってきた人の意見は通らない

と、このことを私が気づきました。でも、実は古くさい意見のよつでも深い意味を持つかもしれないし、意見を聞きたくないことは大事だと思ってしまうようになりました。商店街大学で「答えは一つじゃない」と言われてドキッとしたんです。

商店街を運営していく上では、自社の仕事とのダブルワークで心身共にきつくと感じることも正直あります。そんなときはSDGsという大きな目的を思い出して頭を切り替え、ちょっと心の余裕を持つようにしています。

◇築地場外市場商店街振興組合(中央区)＝食の専門店が約460店舗ひしめく「東京の台所」。NPO築地食のまちづくり協議会と共に活動を展開している

地域の人びとの暮らしの安心・安全を守る

身近なところにある

使ったお金が地元で回る

地域の人びとに体験・教育の場を提供する

個性的な商品力・品揃えを提供できる